



高砂香料工業株式会社

2016年3月期 第2四半期
決算説明会

2015年11月19日

本日の内容



I. 2016年3月期 上期業績

取締役常務執行役員
管理本部長

笠松 弘典

II. 2016年3月期 通期業績予想

代表取締役社長

柘村 聡

III. コーポレートガバナンス

代表取締役社長

柘村 聡

IV. 新工場（三原工場）ご紹介

代表取締役社長

柘村 聡

※ このプレゼンテーション資料では「第2四半期」を「上期」と記述しています



I . 2016年3月期 上期業績



2016年3月期 上期業績

[単位：百万円]	2015/3 上期実績	2016/3 上期実績	対前期比		前回予想 7/31発表	対予想比	
			増減額	%		増減額	%
売上高	66,305	72,123	5,817	8.8	74,000	△1,876	△2.5
売上総利益	21,191	23,609	2,418	11.4	—	—	—
売上総利益率	32.0%	32.7%	—	—	—	—	—
販売管理費	18,479	19,079	599	3.2	—	—	—
営業利益	2,711	4,529	1,818	67.1	4,600	△71	△1.5
経常利益	3,220	4,664	1,443	44.8	4,800	△135	△2.8
特別損益	270	694	423	—	—	—	—
当期純利益	2,004	4,057	2,053	102.4	4,100	△42	△1.0

※期中平均為替レート

USD : 102円
EUR : 140円

120円
134円

120円
134円

2016年3月期 上期業績

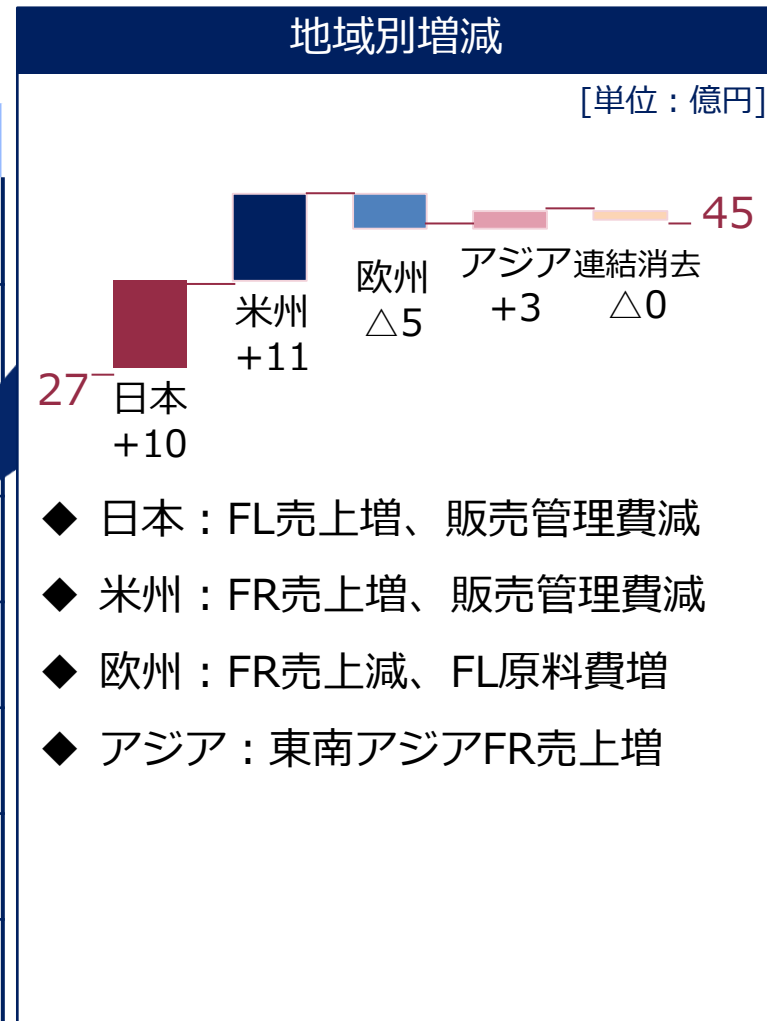
[単位：百万円]	2015/3 上期実績	2016/3 上期実績	対前期比	
			増減額	%
売上高	66,305	72,123	5,817	8.8
売上総利益	21,191	23,609	2,418	11.4
売上総利益率	32.0%	32.7%	—	—
販売管理費	18,479	19,079	599	3.2
営業利益	2,711	4,529	1,818	67.1
経常利益	3,220	4,664	1,443	44.8
特別損益	270	694	423	—
当期純利益	2,004	4,057	2,053	102.4

概況
◆ 為替影響額 売上高33億円増。
◆ 海外売上高比率は51%から54% に。
◆ 営業利益は、日本、米州の回復、 販管費率低下により67%の増益。
◆ 特別損益は、シンガポール工場 の売却益を計上。
◆ 当期純利益は102%の増益。

※期中平均為替レート

USD : 102円	120円
EUR : 140円	134円

[単位：百万円]	2015/3 上期実績	2016/3 上期実績	対前期比	
			増減額	%
売上高	66,305	72,123	5,817	8.8
売上総利益	21,191	23,609	2,418	11.4
売上総利益率	32.0%	32.7%	-	
販売管理費	18,479	19,079	599	3.2
営業利益	2,711	4,529	1,818	67.1
経常利益	3,220	4,664	1,443	44.8
特別損益	270	694	423	-
当期純利益	2,004	4,057	2,053	102.4



※期中平均為替レート

USD：102円

120円

EUR：140円

134円

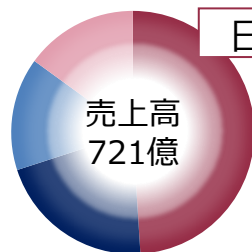
<FL:フレーバー事業、FR:フレグランス事業>

地域別

～日本、米州、欧州、アジア～

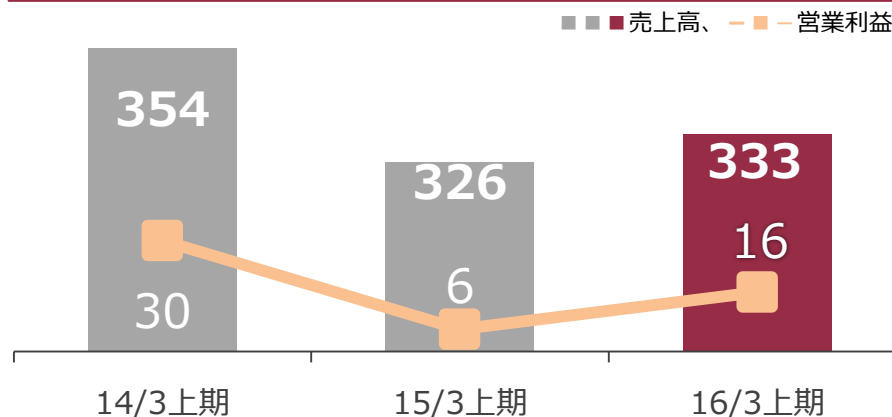


①日本



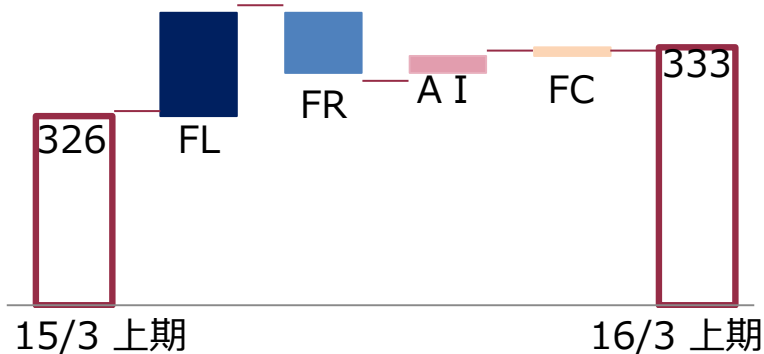
地域	売上高 (億円)	割合 (%)
日本	333	46%
米州	158	22%
欧州	99	14%
アジア	130	18%

売上高・営業利益 3カ年推移



売上高増減分析

[単位：億円]



- FL : 飲料向け香料が増加
- FR : 柔軟剤向け香料等が減少

営業利益増減要因

- ◆ FLの売上増加による増益
- ◆ 販売管理費の減少 (前年比2億減)

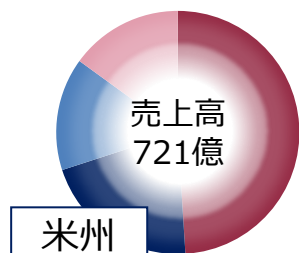
主な増減要因

- 減価償却費 Δ 2.5億
- 共同研究費 +2.0億
- その他 Δ 1.5億

<FL:フレーバー事業、FR:フレグランス事業、AI:アロマイングリディエーツ事業、FC:ファインケミカル事業>

※ 数値は全て日本円建て表記

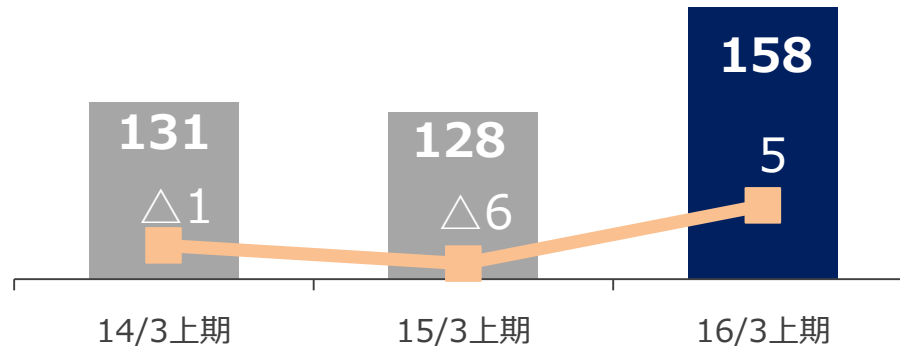
②米州



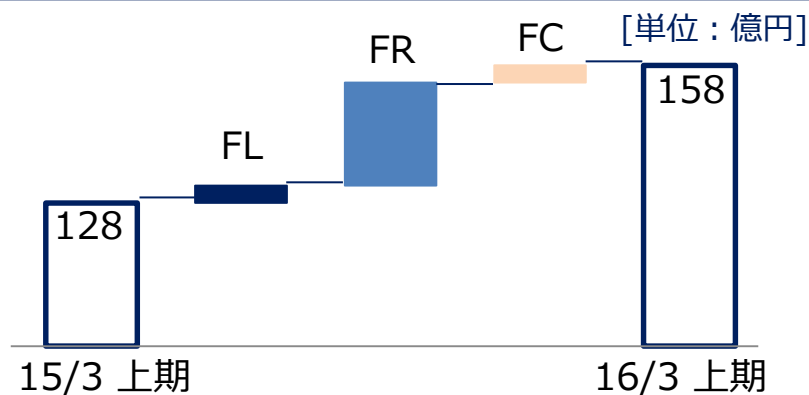
■ 日本	333億円	46%
■ 米州	158億円	22%
■ 欧州	99億円	14%
■ アジア	130億円	18%

売上高・営業利益 3カ年推移

■ 売上高、— 営業利益



売上高増減分析



- FL：現地通貨建て減収も、円安効果で前期並
- FR：マルチナショナル主要顧客向け好調

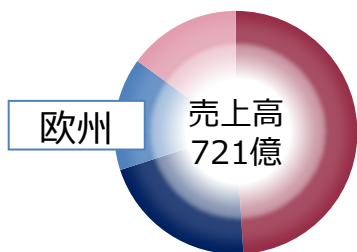
営業利益増減要因

- ◆ FR売上増による増益
- ◆ 売上高販管費率の減少
 - 15/3上期 約28%
 - 16/3上期 約24%

<FL:フレーバー事業、FR：フレグランス事業、FC：ファインケミカル事業>

※ 数値は全て日本円建て表記

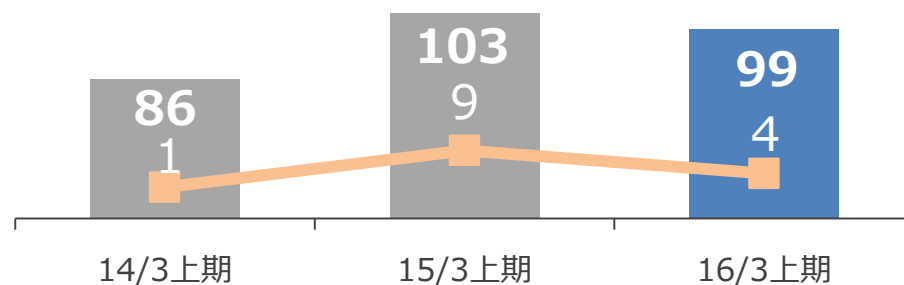
③ 欧州



■ 日本	333億円	46%
■ 米州	158億円	22%
■ 欧州	99億円	14%
■ アジア	130億円	18%

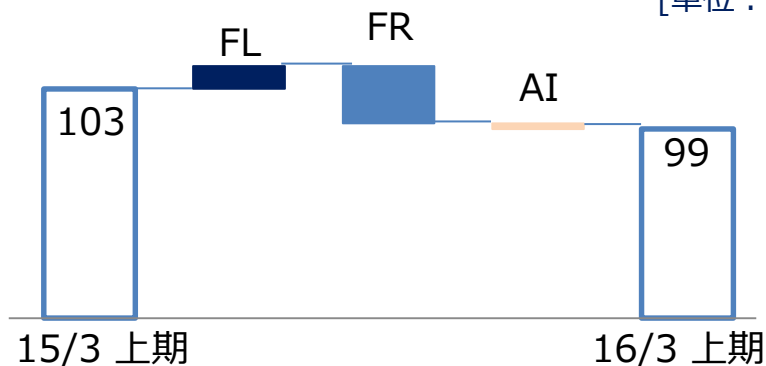
売上高・営業利益 3カ年推移

■ 売上高、— 営業利益



売上高増減分析

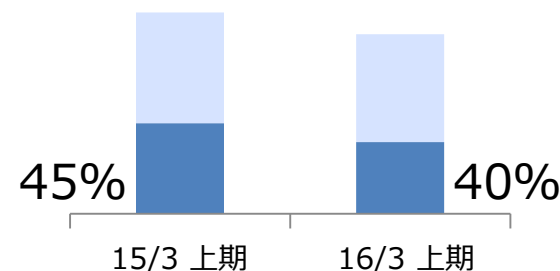
[単位：億円]



- ・ F L : タバコ、菓子向け香料が好調
- ・ F R : ファインフレグランス減少

営業利益増減要因

- ◆ ファインフレグランス売上減に伴う減益
<FRに占めるファインフレグランスの割合>



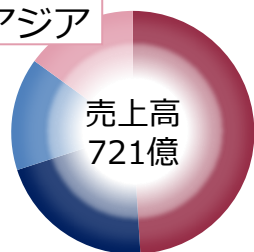
- ◆ F L原料費増により減益

<FL:フレーバー事業、FR:フレグランス事業、AI:アロマイングリディエーツ事業>

※ 数値は全て日本円建て表記

④ アジア

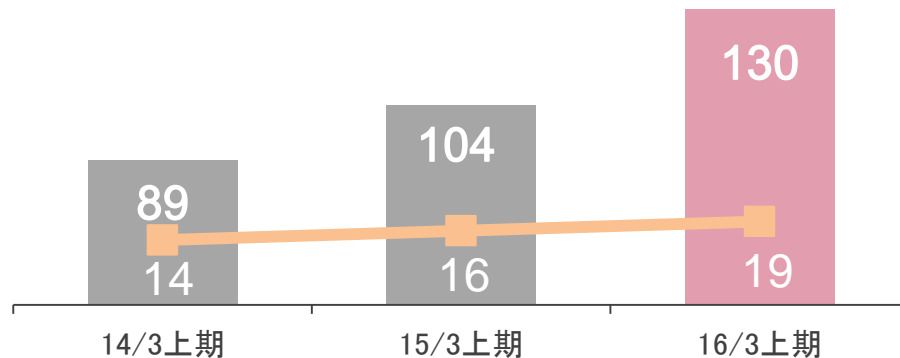
アジア



■ 日本	333億円	46%
■ 米州	158億円	22%
■ 欧州	99億円	14%
■ アジア	130億円	18%

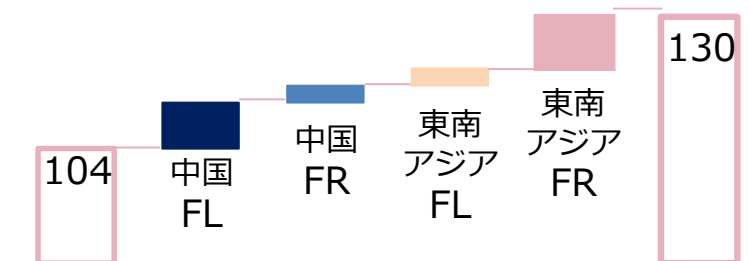
売上高・営業利益 3カ年推移

■ 売上高、— 営業利益



売上高増減分析

[単位：億円]



- 中国 F L : 飲料向け香料が好調
- 東南アジア F R : ハウスホールド向け香料が好調

<FL:フレーバー事業、FR:フレグランス事業>

営業利益増減要因

- ◆ 東南アジアFRの売上増による増益

※ 数値は全て日本円建て表記

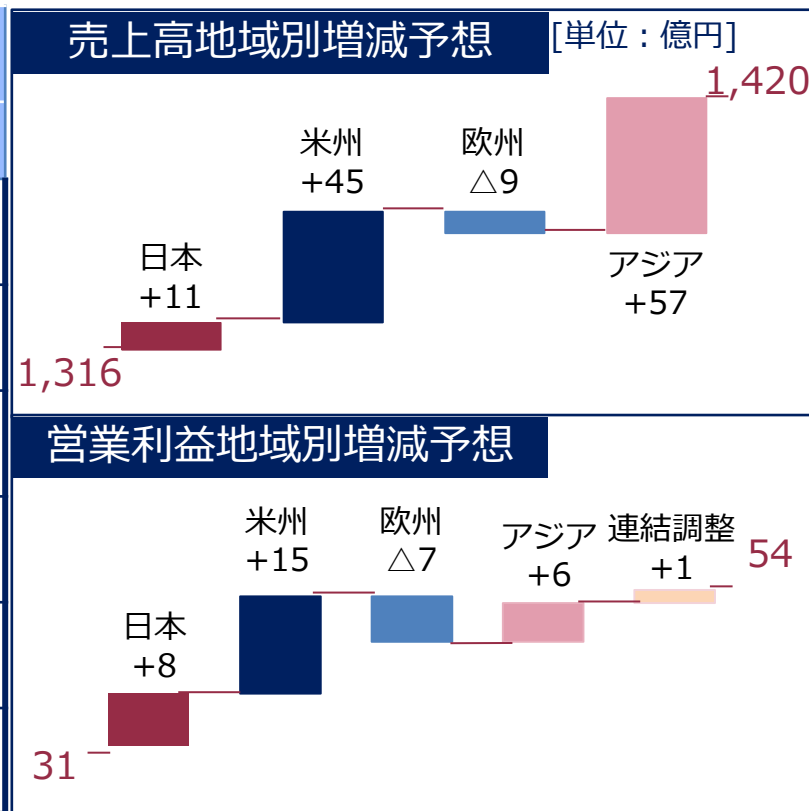


Ⅱ. 2016年3月期 通期業績予想



2016年3月期 通期業績予想

[単位：百万円]	2015/3 実績	2016/3 予想	対前期比	
			増減額	%
売上高	131,653	142,000	10,346	7.9
売上総利益	40,616	-	-	-
販売管理費	37,471	-	-	-
営業利益	3,144	5,400	2,255	71.7
経常利益	3,893	5,700	1,806	46.4
当期純利益	2,549	4,500	1,950	76.5



※期中平均為替レート

USD : 106円 120円
 EUR : 140円 134円

※ 数値は全て日本円建て表記

2016年3月期 通期業績予想

[単位：百万円]	2016/3 上期実績	2016/3 下期予想	2016/3 通期予想
売上高	72,123	69,877	142,000
売上総利益	23,609	-	-
販売管理費	19,079	-	-
営業利益	4,529	871	5,400
経常利益	4,664	1,036	5,700
当期純利益	4,057	443	4,500

※期中平均為替レート

USD : 120円	120円	120円
EUR : 134円	134円	134円

地域別営業利益額

[単位：億円]

	日本	米州	欧州	アジア
上期実績	16	5	4	19
通期予想	17	1	6	28

- ◆ 日本：三原工場、稼働準備費用発生
- ◆ 米州：下期はFR低調予想

※ 数値は全て日本円建て表記

	2015/3 実績	2016/3 計画
[単位:百万円]		
営業CF	10,124	9,000
(減価償却費)	(5,277)	(5,300)
投資CF	△13,649	△12,800
財務CF	6,446	3,000
現預金増減額	3,614	△800
現預金期首残高	15,632	19,247
現預金期末残高	19,247	18,500

CF予想／投資計画

日本

- ◆ 三原工場建設 (32億円)
- ◆ 合成設備（フロー連続装置） (15億円)

海外

- ◆ アジアでの生産設備の拡張／効率化 (20億円)
- ◆ ドイツでの生産能力強化 (34億円)
- ◆ 米州でのラボ拡張 (6億円)

※ 数値は全て日本円建て表記

中期経営計画GP-3 計画の進捗

Vision 2020; グローバルでトップクラス

“Challenging for Growth”

	GP-2			GP-3				次期中計
	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3 期首予想	2016/3 7/31修正	2017/3 目標	2018/3 目標	2021/3 目指したい姿
[単位：百万円]								
売上高	118,973	131,036	131,653	142,000	142,000	150,000	160,000	
営業利益	6,285	5,404	3,144	3,100	5,400	4,400	7,000	
営業利益率	5.3%	4.1%	2.4%	2.2%	3.8%	3.0%	4.4%	
R O E	8.4%	4.7%	3.4%	3.1%	5.0%	3.6%	6.0%	8.0%
海外売上比率	41%	47%	51%	53%	53%	54%	55%	

Vision 2020; グローバルでトップクラス

事業基盤の再強化

人材開発

技術革新

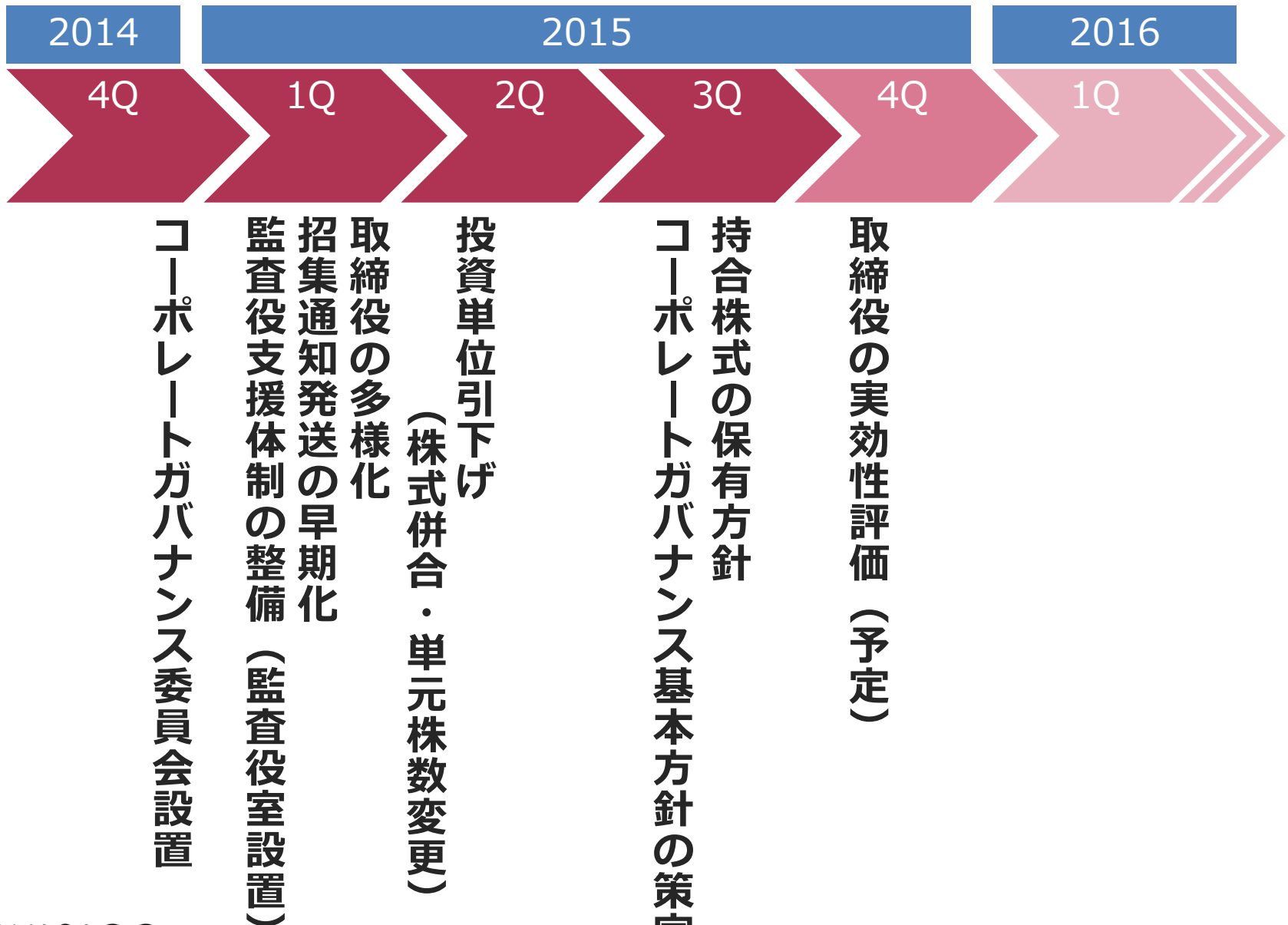
顧客からの信頼

利益体質改善

Ⅲ. コーポレートガバナンス



コーポレートガバナンス強化への取り組み



コーポレートガバナンス強化への取り組み

ガバナンス 委員会設置

- 代表取締役社長をCG委員長とし、社内関連部門で構成
- 東証公表コーポレートガバナンスコードに基づき高砂CG基本方針の策定

監査役支援 体制整備

- コーポレートガバナンス上、監査役の役割高まりを受け、監査役を支援する部署設置
- 社内監査部門との連携体制

招集通知発送 早期化

- 株主総会開催の約3週間前に株主宛発送
(従前に比べ約1週間短縮)
- 株主総会開催日を第一集中日から分散化

取締役の 多様化

- グローバル企業に相応しい
 - 外国人取締役の登用
 - 海外現法経営者を取締役に起用

コーポレートガバナンス強化への取り組み

投資単位 引下げ

- 株式併合と単元株式数変更で投資単位を引下げ
- 個人投資家も投資しやすい環境に

コーポレートガバナンスに関する 基本方針

- コーポレートガバナンスに関する基本方針を11月11日取締役会決議、公表

持合株式

- 持ち合い株式に対する保有方針を明確化
- 定期的に保有株式の経済合理性評価を実施

取締役会の 実効性評価

- 本年度より各取締役の自己評価等に基づく実効性評価を実施予定

IV. 新工場（三原工場）ご紹介



三原工場設立のコンセプト

- 地震、津波、台風などの自然災害が歴史的に見て非常に少ない
- 電気、上下水道、ガスなどの生産インフラが整備され短工期で実現可能
- 陸路(自動車道、新幹線)、空路の交通アクセスに優れている

安全

自然災害への対策、事故抑止を含む十分な安全性を追求する

- 静電気対策
- 可燃性混合気の拡散抑制対策
- 消火設備の増強

効率

製造から配送プロセスまで高い効率性を追求する

- 自動調合機導入により省力、効率化実現
- トレースシステム、自動倉庫ラックシステム

BCP

既存生産拠点補完を行うことを目的に、リスク分散を図り事業継続に寄与する

- 西日本初の工場拠点

三原工場概要

- 所在地 : 広島県三原市沼田西町惣定247番94号
- 完成 : 2015年9月15日
- 敷地面積 : 約50,000m²
- 延床面積 : 約20,000m²
- 運営会社 : 高砂香料西日本工場株式会社
- 生産品目 : フレーバー品目
- 生産量 : 年間約3,000トン
- 従業員数 : 約100名



本日は、ありがとうございました。



※注意事項

本資料は、2015年11月19日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

問合せ先：取締役管理本部長 笠松 弘典
TEL: 03-5744-0523 FAX:03-5744-0512
<http://www.takasago.com>
E-mail: ir@takasago.com

